

まえがき

平成23年3月11日午後2時46分、東北地方太平洋沖を震源とするマグニチュード9.0最大震度7の観測史上最大の地震が発生し、大津波を伴い、東日本において未曾有の被害をもたらしました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災地の復旧・復興を心から願っております。

今回の大震災では、本県においても建物損壊を始め、鉄道の停止、道路の渋滞等大きな混乱を生じました。現在も、災害に対する不安、放射性物質拡散への懸念など、私たちの生活全般に大きな影響が及んでいます。

秋田県の調査によると3海域連動によるマグニチュード8.7の地震による大津波も想定されており、昭和59年5月26日に発生し、多くの尊い生命と財産を奪った日本海中部地震はもちろん、東日本大震災から私たちは多くのことを学び、今後の災害に対し十分な備えをしなければなりません。

こうした中、秋田県教育委員会では、平成24年度より、「防災教育推進委員会」を設置するとともに、有識者や関係機関の協力を得て、研修の充実・情報の充実・地域連携の充実を大きな3本の柱とした新しい防災教育への取組を進めてまいりました。

昨年度に引き続き、今年度も取組をまとめた防災教育実践事例集を作成いたしました。本事例集は、学校における地域と連携した防災教育の具体的な進め方や外部指導者を活用した防災教育の実施状況など、学校や地域の実態に応じた実効性のある内容が紹介されております。

各学校においては、本事例集を活用し、地域と連携した防災教育の充実及び幼児児童生徒・教職員の「防災対応力」の育成を図っていただきますようお願いいたします。

おわりに、防災教育実践事例集の掲載にあたり、御協力いただきました関係各位に対し、心より御礼申し上げます。

平成27年3月

秋田県教育庁保健体育課
課長 越後谷 真悦